

便潜血検査（大腸がん検診）

【検査の目的・対象者】

便潜血検査は、大腸癌を診断する検査のひとつとして行われています。大腸癌の多くは大腸の出血を伴うので、便に血液が混入します。この検査では便中に混入した血液（ヘモグロビン）を検出し、大腸での出血の有無を確認しています。

対象は、40歳以上の方。また、40・45・50・55・60歳および70歳以上の方は無料です。1年度に1回検査出来ます。

【検査の方法】

一緒にお渡ししたキット（採便容器とトレールペーパー）の説明書をお読みになって、便を採取してください。1日目と2日目の採便間隔は出来るだけ短くして、早めに提出してください。

・便の有効期限

25℃(室温)保存でのヘモグロビン残存率は1週間で約半分にまで下がってしまいます。このため、当院では受診日より1週間前までの便のみ受付しております。

【検査の結果】

結果は、郵送にてお知らせします。便潜血陽性の場合は、精密検査実施医療機関へ届ける連絡票も同封します。当院でも、大腸内視鏡による精密検査を実施しています。お電話でも構いませんので、御相談下さい。

大腸がん検診の流れ



はせがわクリニック

内科 + 消化器内科 + 皮膚科